



太鼓の響き天までとどけ

子供和太鼓 夏の公民館講座



館諏訪神社境内で

# 人とまち が踊る

柿岡の街が熱気であふれた八坂神社祭礼（柿岡の祇園祭）。今年は7月21日と22日の2日間で行われました。館諏訪神社の獅子が露払いで練り歩き、通りを清めた後、荒宿八幡神社のささら、みこし渡御が行われ、夕方には町内の山車が商店街を熱気で包みました。



↑ 祭りは楽しいよ



↑ ご神体をおみこしへ



← 病気になりませんように



← 化粧もきまってるね





↑夏祭りにはやっぱりかき氷



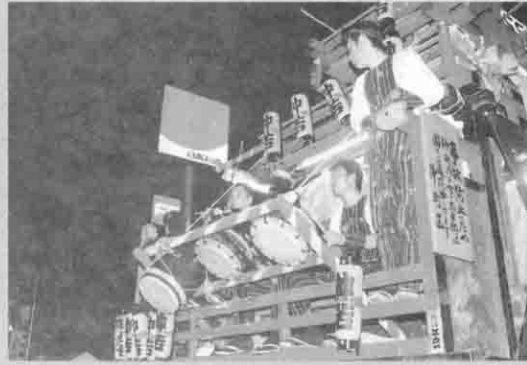
↑今年の獅子も元気いっぱい



↑獅子の顔、迫力あるね



↑おそろいのハッピーで



↑ピースお祭り大好き



↑たご焼おいしそう



↑荒宿のささら



# 支えあつて前向きに介護

七月二十二日、役場一階会議室で、家庭介護者のつどいが行われ、家庭介護者とボランティアのみなさん合わせて五十四人が参加しました。その中で「私の介護体験について」と題する発表が、横田まさ氏（山崎）と椎名道子氏（山崎）からそれぞれありました。お二人とも介護の経験が長く、現在も家庭で実の親を介護しています。今回はお二人を代表して横田まさ氏の発表を一部要約して紹介します。



私は現在九十一歳になる父を一年介護しています。明治四十三年生まれの父は平成元年七十九歳に脳梗塞で倒れました。母が昭和六十年六十一歳で亡くなってからは、父は四年ほど一人暮らしをしており、私は週三回ぐらい石岡の父のところに行き、日中五、六時間父と暮らしておりました。十一月二十三日の夕方、主人と二人で石岡に行き、二階のふとんの中にいる父親の異変に気付き、すぐ救急車を呼び、入院となりました。

父は元気な頃、隣家の民生員さんに「時々来ている娘さんの緊急連絡先を教えてください」と言われましても「俺は自分の死ぬときは分かるし、コロッと死ぬから誰の世話にもならない」と言っていた。電話番号を教えなかつたほど頑固で亭主関白な父でした。

さて、父を病院に半月ほど入院させ、その後脳外科に明るい先生を頼り、その病院に三ヶ月半入院いたしました。脳を中心視床下部が左右やられ、手術不可能、重症とのこと、お葬式の写真まで用意したほどでした。本人の生命力、医師の適切な処置、妹と交替で寝泊りの介護、そしてある日、物が

飲み込めてからの食事等が辛いし、奇跡と呼び、四ヶ月足らずで退院できることになったのです。お医者様より「再発の危険性が高く、一人暮らしは不可能です」と宣告されました。すると私の主人は、わが家に引き取ることを言ってくださいました。私は女二人の姉妹で、親付きでない次男の主人と結婚しましたので、その点親の介護をすることがすんなり決まったのです。主人には心から感謝しなくてはと思っています。なぜなら私たちが結婚する際、父は相性が合わないから結婚は許さないといい、いくら彼が私の家に足を運んでくれても決して許してくれず「それならば」と私は勘当されて結婚してしまつたからです。当然主人には消そうとしても消せない心のトラウマができたはずですが、それを振り切つてわが家に向かい入れてくれたことは言葉で言い表すことはできません。

さて父親を自宅で介護するようになって、あつという間に十一年が過ぎ去りました。父は脳梗塞の後遺症のため、脳血管性痴呆症になり、今現在のことをすぐに忘れてしまいます。でも不思議なことに、例えば親せきなどで、父の知っている人が亡くなったことなどは教えるところやおぼえているのです。後遺症で性格が百八十度

変わる人もいるそうですが、幸いにして父の場合は、おとなしくて物静か、新聞さえ読んでいれば飽きずに眺めているという孝行屋に変身してくれました。しかし同居初日は大変でした。父も緊張していたのか、尿失禁を七回以上もし、私を慌てふためかせ、明日からの日々を想像しますと気が重くなつたのをおぼえております。主人から「絶対怒つちやだめだよ」と言われており、私もそのつもりでいましたので、黙々と始末をしました。不思議なことにそれはその日かぎり、次の日からは一人でトイレに行き、漏らすこともなくなりました。家で介護するようになってから足が弱つて寝たきりにならないように散歩で歩くことのリハビリに励みました。近所を父と手をつなぎ、折られたみイヌを持ち、散歩しました。最初のころ父は近所の知っている人に出会いますと「こんな老いばれの役立たずのために娘に迷惑かけてすまなくてねえ」と痴呆の父が言うのです。普段の生活の中で私に対し「ありがとう」とか「すまないねえ」と他の人に話す父の言葉で「世話をかけてすまない」という気持ちがあるのだと分かりました。痴呆になつても人間死ぬまででなくならないのは「羞恥心と自尊心」だそう

です。ですから私は「ボケちゃってしょうがないねえ」等のマイナスの言葉は出かかっても口に出すことはしないよう心がけています。父は左耳が全く聞こえず耳が遠いのですが、ある時私は大きな声でやや早口で話したことがあります。すると父は「怒らないでくれよ。かわいそうじゃないか」と言うのです。私は決して怒ったわけではないのですがそう聞こえてしまったのです。それからはずつくりと優しい声で語りかけるようにしました。私をあまりでこすらせない介護しやすい父なので現在に至るまで怒ったりしたことはありません。でも、状態が大変になった時果たして怒らずにいられるかの自信は全くありませんが、体と心の精神状態をベストに保つことが不可欠であると思います。寝不足や悩み、体調不良などは口から出る言葉に即座に反映いたします。心と体は見事に一体化していることが分かります。心も体もゆつたりと安定を保つよう心がける、これは介護にとって重要なことだと実感しています。

変化や、花を眺めることで刺激を与えています。また、車でスーパーへ行き、手押しカートを使って買い物と散歩をかね外出いたしますが、スーパーの中で赤ちゃんや小さな子どもに会うと父はにっこりとした表情を見せとても喜びます。色々な人々や自然に触れたり、違った環境に身を置いたりすることとは脳の活性化、ボケ予防等に大変役立つと思います。また、病気は冷えから来ると言うので、冷え取り健康法：四十一、二度に設定しました足おけ機に足を入れ、足を温めることを朝晩二、三十分ずつと、平成二年から今まで欠かさず行っております。父はお医者さまがびつくりするほど背骨が曲がっており、たまに腰痛を起こします。そのような時、足湯を丁寧に行うと、必ず直りますので、父も喜んでいきます。また、父はアンパンが大好きです。確かに塩分や糖分を制限しての健康法もありますが、食事に好きなものを出して、楽しみと喜びを与えることは大事だと考えています。そう考えるようになったきっかけは、母の介護からです。亡くなる一年前、わが家で一時母の介護をしたのですが、玄米食やら塩分制限と言って、とても味の薄いおかずになりました。母は田舎育ちで甘じょっぱい味が好みでした。ですから薄い味付け

にしますと「おいしくない」と言ってしまうので、食が進みませんでした。それから一年後に亡くなった時「本人の好みの味付けでおいしく食べさせればよかった」と心より後悔したのでです。

以前、八郷町のオアシス作文で広報に掲載されました私の「お父さんありがとう」の文中から一部抜粋させていただきます。「主人の父は癌と戦い、五ヶ月間の入院中、当時八十八歳の父をテイサービスやショートステイを上手に利用し、水戸への付き添いに通いました。義父は私が何かを行うたびに感謝の思いを込めた「ありがとう」のあいさつをかけてくれました。かけていただいた「ありがとう」の一言は受け手の私に何とも言えぬうれしさと、また今日も明日も頑張ろうと疲れた体をいやし、活力を与えてくれました。ご縁あつた三人の親を看取らせてもらつた今、残りはお父一人と寂しくなりました。私は今、介護する人、される人両方が思いやりと感謝の心を持たなくてはと思いやがて訪れる自分の老後を考えました。病院や施設のみなさんにお世話していただくか、はたまた自宅で子どもやお嫁さん等に介護してもらうか分かりませんが、いずれの場合も心から感謝を込めて「ありがとう」と言いたいと思います」とい

うことを書かせていただきました。私になぜ「ありがとう」という言葉にひかれ書いたかと言いますと父は私に対し、娘であるからでしょうか、それとも昔の人だから感謝していても言葉に出して言うのは照れくさいのかもしれないが、義父からの「ありがとう」の言葉は新鮮で、心も疲れもいやされることに気が付いたからです。

私は父と同居してから二年後、つくしんぼの会のボランティア活動を始めました。手紙と飲み物、おやつを置き、家は空けても、留守番という責任を与えられ、かえって父はシャキツとするのです。現在つくしんぼの会と愛のともしび会に所属し、喜んでいただきたいの思いと、やらせていただきますとの謙虚な気持ちを忘れずにお年寄りの方々に接します。人生の大先輩より色々と学ばせていただけたことが何よりの収穫であり、何よりも自分のためになっていることが分かります。

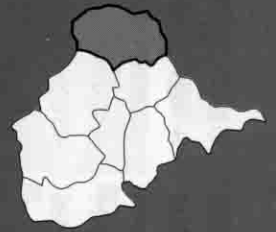
ところでPPKという言葉をご存知でしょうか。亡くなる寸前で元気だいて、そしてコロッと死ぬ「ピンピンコロリ」の頭文字を取ってPPKです。PPKで亡くなることは理想ですが、こればかりは自分の自由にはなりません。しかしなるべく子どもたちの迷惑にはなりたくないと思うこのころ

です。介護についての言葉で「いつまで続く、ぬかる溝」と聞かされたことがあります。赤ちゃんは大きくなるにしたがい、成長する喜びがありますが、お年寄りの介護はいつまでとは誰にも分からず、だんだん大変になるという意味がそうです。嫌々、くよくよしながら「なんで私だけが」と思っている介護より「明るく前向きに今日一日」と生活することが大事です。そして誰かに愚痴をこぼしてもいい、心の内を吐き出し聞いてもらうのです。一人でなにかもやろうと頑張らず、肩の力を抜いて色々な助けを借りて、行えばよいと思うのです。

現在の私がこの世に生を受け、生きておりますのは苦勞して育ててくださった親あつてのこと、どんな親でも親なのです。この言葉の奥深い意味をくみ取りまして、親への恩を少しでも返せますように、親孝行の真似事を自然体でやっつけていきたいと思っております。



参加者が熱心に発表体験



# わたしたちのまちは わたしたちが守る

仕事を持ちながら、地域のために奉仕する消防団員。近年、少子化が進み、サラリーマン家族が増えている中で、消防団員の確保は困難になってきています。第四分団では、副分団長、各部長、新入団員が恋瀬地区公民館に集まり、現在抱えている悩みを出し合い、解決に向けての意見交換をしました。今月号は、座談会を含めた恋瀬地区Ⅱ第四分団の紹介をします。



↑ 4分団で抱えている悩みを解決しようと真剣に意見を出し合いました。

## 四分団 座談会

### よりよい消防団 活動をめざして

藤枝分団長 みなさん、この度は座談会にお集まりいただきありがとうございます。今回は、消防団活動をしている中での問題点をみなさんにそれぞれ話してもらい、その解決策を考えていきたいと思っています。まず、四分団で言えることは、消防団員の確保ということになると思うのですが、新入団員の勧誘はどのように行っているかそれぞれ現状をお聞かせください。  
**前沢(大塚)** 大塚では三月前に、部長と班長が、消防団に入つていただくよう声をかけています。見つけるまで探します。  
**入江部長(大増)** 今までは部長、班長で勧誘をしていましたが、四年ぐらい前から若い団員に探して



藤枝分団長(大塚)

### 第四分団長 藤枝 敬一

第四分団は、自動車ポンプ三台、可搬式ポンプ二台の五部隊、六十名の団員で、消防精神を持って、地域の防災活動に努めています。毎月各部で定例会を開き、機械器具の点検や巡回をします。年に一回は、部対抗を含めたボウリング大会などを行い、団員間の交流、親睦をはかっています。消防団OBのみなさんにおいては、操法大会の練習時の指導や、大会の応援にもご協力いただき、地域を盛り上げてくれています。  
消防団員は、地域の後継者として、多方面に活躍しています。団体活動が少ない中、ボランティア

### 町民の声

太田在住  
谷仲 洸さん

意識や仲間意識、上下関係を学ぶのも消防団です。ぜひ、多くの地域の若者が入団されることを願っています。

災害から身を守るのは自分自身。ですから「自分だけは大丈夫」と思わずに、いつわが身に降りかかるかわからない災害に日ごろから備えていきたいです。このような中、火事のお骨折りいただいている地元消防団のみなさんには大変感謝しています。個人的には初期消火だけでも住民ができるように訓練を行ってもらえたらと思います。





入江部長 (大増)



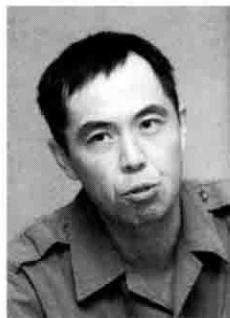
荒木部長 (小見)



石井部長 (中戸)



前沢さん (大塚)



谷仲部長 (太田)

もらっています。おかげさまで大増においては、スムーズに団員に入団してもらっています。ただ、団員の中でも会社勤めで夜勤の人もいるため、消防活動に参加したくても参加できないことが多々あります。これからは、消防活動に参加できる団員の確保が難しくなってくるのではないのでしょうか。

**荒木部長 (小見)** 今まで部長と班長で勧誘してきましたが、やはり勧誘する方とされる方の年齢差があり、うまく勧誘ができなかったようです。区長さんにも頼んだこともあります。今は大増と同様、若い団員に探してもらい、部長と班長と三人でお願いに行っています。それでも理解を得られない現状があります。率先して入団してくださる方がいればいいのですが。

**谷仲部長 (太田)** 一番年の若い団員にお願いしてできるだけ若い方を勧誘するようにしているので、今のところは問題ありません。仕事の都合で断られることは多いですね。

**石井部長 (中戸)** 中戸では、勤めが長男が家を出ているところもある。若い団員を探するのは難しいです。藤枝 みなさんの話を聞くと若い団員に勧誘をお願いしている部がほとんどでしたが、断られる理由はどのようなことでしょうか。

**前沢** 仕事を理由に断られることが多いですね。

**入江** 誘っている本人ではなく、親に断られることもありますね。消防団への理解が得られていないかも知れません。実際入団してみると、昔あった町の青年団のようです。大変なことはかりではないのですが、理解してもらいたいです。

**藤枝** そうですね。町の青年団も今はなくなつて、地域を盛り上げる活動は消防団しかないのではないのでしょうか。私たちは若い人たちが消防団に入りやすい環境づくりをしていく必要がありますね。

**桜井 (大増)** 私は消防団に入団したばかりですが、入団するときは特に抵抗はありませんでした。今年操法大会に出場させてもらいました。大会の練習はきつい時もありましたが、先輩のみなさんが面倒を見てくれ、気づかってくれたので、つらいことも忘れてしまったのをおぼえています。

**大図 (中戸)** たしかに操法大会はプレッシャーがありますね。

**石井** 私は以前、仕事中に地元の火事を知ったのですが仕事の都合で抜けられず、現場へ駆けつけられなかったことがあります。

**藤枝** 会社で理解が得られるかどうかは消防活動をする上で重要ですね。

**入江** 大増では自営業をやっている団員が多いので、昼間火事があったときはすぐに集まることできます。しかし、これから地元の人に会社に勤める方が少なくなっていく場合、若い団員を確保する上での人選はますます困難になってくるでしょう。

**藤枝** これから私たちがよりよい消防活動をしていくためには、このような問題の解決に向けて意見を出し合いながら話し合うことが大切です。いろいろな問題が各部分であることが分かりました。やはり基本的に消防団員として大事なものは奉仕の精神です。これらを踏まえて、地域の方たちに消防団の理解をしてもらい、ご協力いただきながら地域に根ざした消防活動を行っていきたいと思います。

### 四分団一部

#### 岡野和正さん(大塚)

真家の真栄製作所に勤める岡野さんは、エレベーターやエスカレーターのパーツを作っています。消防団に入団してからは十一年目になります。「以前は自衛隊をしていましたので、地元での付き合いはあまりありませんでしたが、この会社に入社し、消防団に入ってから、交友関係が広がり、入団して本当によかったと思っています」と笑顔で語ってくれました。



### 四分団五部

#### 大図愛一郎さん(中戸)

大図さんは小見の化研生薬に勤め、医薬用医薬品の製造に携わっています。「火事ときは消防車が会社の前を通るので、仕事が忙しくないかぎりはお動いています」と話す大図さん。「仕事をしながらの消防活動は苦労もありますが、消防団に入団して、幅広い年齢層の人たちと知り合いになれたことはとても貴重ことです」と語ってくれました。



### 町消防ポンプ操法大会結果 7月20日



**自動車の部** 優勝第一分団第二部 (柿岡内宿) 小型の部 優勝第二分団第三部 (須釜) 準優勝第七分団第三部 (片岡) 三位第八分団第四部 (柴内)

なお、優勝各部は十月二十日、千代田町を会場に行われる新治地区大会に出場します。

# 下水道

9月10日は下水道の日



町の木しいと町の花ゆりを  
図案化したマンホール蓋

わたしたちの生活に欠かせない、かけがえのない水。

水は、地球に生命が誕生したときから、雨として地上に降り、川として海に注ぎ、海水は太陽に温められて蒸発して雲になり雨になることを繰り返してきました。

「下水道」は、わたしたちが暮らしの中で利用し、汚した水を、きれいに処理してから川や海に戻していくのです。この雄大な自然の水循環とわたしたちの暮らしをつなぐ役割を持った「下水道」は、これからますます大切になっていくことです。

## 町の下水道

町では、清潔で快適な生活環境の向上と、公共水域の水質保全を図ることを目的に平成八年度より下水道事業に着手しております。

下水道事業の町全体の計画は、恋瀬地区・小椋地区を除く町全域を公共下水道（柿岡）・特定環境保全公共下水道（柿岡除く）で平成二十七年まで整備することを目標としています。

現在、全体計画の内、事業認可区域（平成十九年度までに整備予定）の管渠工事と、処理施設の工事が進行中です。

処理施設は、平成十四年度中に一部供用開始を目指して、根小屋地区石淵において水処理施設（二系列・汚泥処理施設・管理棟）を建設中です。

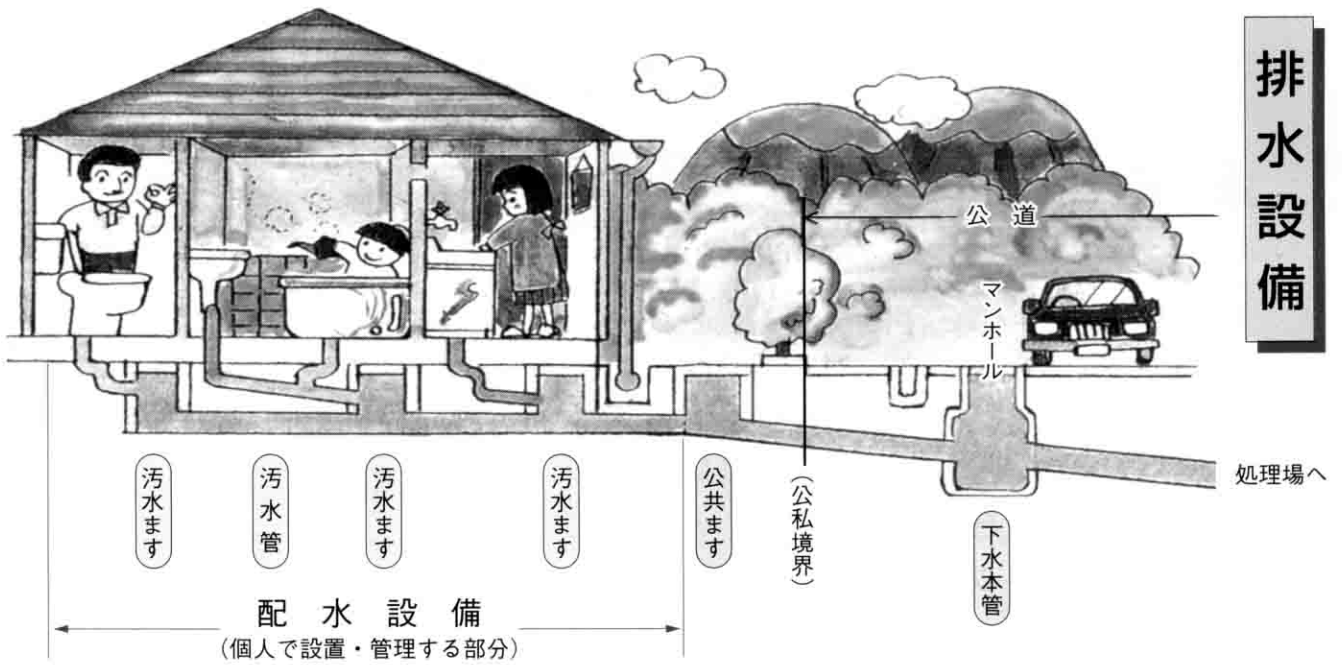
平成十四年度中に供用開始できる区域は、根小屋・片野・金指・柿岡の一部・須金の一部・小幡の一部を予定しております。



建設中の処理施設（汚泥処理棟）



# 排水設備



## 受益者負担金

下水道が整備されると、その整備により特定の区域について環境が改善され、未整備区域に比べ利便性・快適性が著しく向上します。結果として、当該区域の資産価値を増加させます。加えて、当該利益を受ける方が明確であること等の理由から受益者負担金制度が採用されています。

受益者負担金制度の具体的な額・方法・時期等については、町の条例で定めるわけですが、現在その条例を作成中です。

## 供用開始されたら

下水道工事が完了し、下水道が使えるようになりますと、町から使用できる区域の各家庭などに、その連絡や説明会などを行いません。

その後、町で設置した公共ますに家庭で出す汚水を流すため、敷地内に台所・風呂場・洗面所・水洗便所などの排水口をつなぐ排水設備が必要となります。

この排水設備は個人が設けるもので、維持管理も個人が実施します。

もちろん、現在くみ取り式の便所は水洗便所に改造することになります。この下水道への接続は、下水道が使えるようになって(供用開始の公示)から三年以内に行わなければならないことに下水道法第十一條の第三項で定められておりますので注意が必要です。

詳しくは役場都市計画課まで

(内線二一六二)

花と緑の楽園 茨城県 フラワーパーク

## 秋バラまつり

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは「秋バラまつり」を開催いたします。

開催期間 九月二十二日(土)～十一月十一日(日)

### 期間中の催し物

●鉢バラ、バラ苗特別販売

九月二十二日(土)～十一月十一日(日) 各種バラ苗を多数取り揃え販売いたします。

●デザイン押し花作品展

九月二十二日(土)～九月三十日(日) 「ふしぎな花俱樂部」の会員のみなさんによる押し花作品を多数展示します。

●花のモデル撮影会

十月六日(土) プロモデル、水戸の梅娘を招いて撮影会を開催します。※雨天時は十月七日(日)になります。

●中国雑技団公演

十月八日(月) 中国北方の獅子舞をはじめ、パワフルでスピーディーなアクロバットを披露します。

ます。

●自衛隊音楽隊コンサート

十月十三日(土) 自衛隊音楽隊の演奏による幅広いジャンルのコンサートを開催します。

●園芸教室「バラの手入れの仕方」

十月十四日(日)・二十八日(日)・十一月十一日(日) 十三時三十分～バラの手入れの仕方についての園芸教室を参加無料で行います。

●フラワーアレンジメント教室

十一月十日(土)・十一日(日) 十一時～十四時バラの花などを使った「卓上花」の作り方についての講演会を参加無料で行います。

開演時間は午前九時から午後五時までです。(入園は午後四時三十分まで)

詳しいお問い合わせは、茨城県フラワーパークTEL四二一四二一までお願いします。



中国雑技団公演

国民  
宿舎

つくばねのご利用を

# 本年度新企画 同窓会のお客様へ

## タイムカプセル (2年間保管)

- ①未来のあなたへメッセージを預かります。
- ②ポラロイドカメラで写真を撮ります(1人づつ)。裏にメッセージを残します。  
(別料金) 保管期間は2年間以内とします。

## 日帰り (料理3,500円～)

湯ったりコース (ゆりの郷500円で入浴) ※10名様以上

集合場所 → ゆりの郷 → つくばね → 集合場所  
(迎え) (入浴) (宴会) (送り)

一泊コース (8,000円～) (ゆりの郷500円で入浴) ※10名様以上

集合場所(迎え) → ゆりの郷又はフラワーパーク → つくばね(泊)  
(翌日) つくばね → ゆりの郷又はフラワーパーク → 集合場所(送り)

※その他ご相談に応じます

●お問い合わせ、ご予約は

ハ 郷 町  
国民宿舎

つくばね

八郷町小幡湯袋2132-50

☎0299-42-3121

## ●最近気になる病気

ヘリコバクター・ピロリの  
感染状況と除菌治療

石岡市医師会病院  
外科 工藤 秀徳医師



前々回の丸山先生に続いてヘリコバクター・ピロリ菌についてお話しします。胃潰瘍や十二指腸潰瘍が再発する原因の一つにヘリコバクター・ピロリという胃内に存在する細菌が関係することが明らかになっています。感染源は糞便が究極の感染源で、汚染された水の経口摂取が一番重要な感染経路と考えられます。感染は社会経済状態と密接な関係があり、水道水の消毒がひとつの鍵となっています。欧米では、子どもの感染率は低いが、成人で三十割以上、六十歳代では半分が感染しています。日本では、若者では低く、高齢者では欧米よりかなり高くなっています。戦前・戦後の上下水道を初めとする衛生状態を反映しているといわれています。発展途上国では十歳までに六十割から七十割が感染し、全年代平均で八十割から九十割が感染しているといわれています。当院では今年一月から六月までの間約五百人に胃カメラを行い、六十二人にヘリコバクター・ピロリ菌の検査を行ったところ、五十五人の感染を認めました。内訳は男性四十二人、女性十三人、平均年齢五十・四歳でした。ヘリコバクター・ピロリ除菌療法とは、二種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を一週間服用することにより、菌を取り除く治療のことをいいます。ヘリコバクター・ピロリ菌は成人日本人の多くが、胃内に感染しているといわれ、厚生労働省も昨年十一月にこの菌が胃潰瘍、十二指腸潰瘍の原因のひとつとして除菌治療の保険適用が認められました。当院でも除菌治療を行っています。当院でもヘリコバクター・ピロリ菌感染の方で除菌治療を行った方のほとんどの方が除菌に成功し、胃痛、胃不快感等の症状から開放されてきています。今後、除菌に成功することで、長年服用していた抗潰瘍薬より離脱できる方が増え、患者さんの負担も大幅に減るであろうと思われます。胃潰瘍、十二指腸潰瘍で長年お悩みの方、ヘリコバクター・ピロリ菌感染を指摘され未治療の方は近医で相談を受けることをお勧めします。

## カレー風味肉じゃが



食生活改善推進員 飯島はつ子 (山崎)  
(ヘルスメイト)

【材料】 (4人分)

★国産牛こま肉 250g ★じゃがいも 4個  
★にんじん 1本 ★玉ねぎ 1/2個 ★いんげん  
5本 ★油 大さじ2 ★だし汁 1・1/2カップ  
★砂糖 大さじ3 ★カレー粉 小さじ2 ★塩  
少々 ★しょうゆ 適宜

【作り方】

①油で牛肉を炒め、いんげん以外の野菜を加え、更に炒める。②だし汁、砂糖を加え煮込み、しょう油、塩、カレー粉で味付けをする。③野菜が煮えたら、お皿に盛り、ゆでたいんげんを散らす。

【1人 397kcal】

## ★わが家のアイドル★



小幡

飯田了太ちゃん  
りょうた

平成11年4月2日生まれ  
父 孝雄さん 母 真美さん  
★家族からの一言

とてもわんぱくな男の子です。今はおうちのプールに夢中で、一日中入っただけでも飽きないくらい。シヨベルカーが大好きで本物を見ると「ガリガリ」と言いながら大変はしゃぎます。このまま元気に育ってほしいですね。

## 八郷の歴史 (5)

最近グローカルという言葉の時々耳にします。グローバル(世界的)とローカル(地域的)の合成語で、「世界のなかの地域」「地域から世界へ」ということを意味するようです。

近現代史を勉強していると、これこそグローカルだ、という事例によく突き当たります。ひとつの地域の歴史が日本や世界の歴史に密接に結びついていることがよくあるのです。八郷町の場合も例外ではありません。

町内林地区には、佐久良東雄の旧宅が残っています。今佐久良東雄と言ってもピンと来ない若い方が多いと思いますが、戦前には、勤王の先駆者のひとりとして、

## グローカルな視点

小学校の国定教科書にも登場した人物です。東雄は幕末の歌人・国学者で、文化八(二八二)年新治郡浦須村(現林地区)に生まれました。三十歳を過ぎた頃、江戸に出、国学者の平田篤胤の門に入りました。その後、江戸や京都、大坂で全国尊王攘夷の志士と交わりましたが、万延元(一八六〇)年、桜田門外の変参加者をかくまったことにより、江戸伝馬町の獄に繋がれ、そこで死亡しました。この八郷出身の勤王歌人が、その人生を演じたのは、幕末の動乱という日本史のそして世界史の大舞台でした。さらに彼が「復活」したのは、満州事変から太平洋戦争にかけての「十五年戦争」のさな

かでした。東雄の「復活」は、第二次世界大戦という二十世紀世界史上最大の出来事と無縁ではなかったのです。

話を、やはり柿岡地区にある気象庁地磁気観測所に移しましょう。地磁気観測所は、大正二(一九一三)年地磁気測候所として東京から移転してきました。移転理由について詳しいことは素人の私にはよくわかりませんが、やはり八郷町の自然条件と無縁ではなかったでしょう。

現在、地磁気観測所は、世界に四個所しかないDst指数(地球を取り巻く赤道環流の強さを示す指数)を決定する地磁気観測所のひとつです。のみならず、日本における地球物理学のメッカでもあり、所員のなかにはのちに文化勲章を受賞された方もいます。

地磁気の観測は、非常に厳しい条件が

必要とされます。たとえば、観測に悪影響をおよぼす電磁波を発する建物や交通機関を観測所の近くに設けることはできません。首都圏には珍しい田園風景が八郷に残ったのは、地磁気観測所のためかもしれません。極言することが許されるのであれば、世界や日本が、八郷の田園風景を必要としたとも言えるのです。

佐久良東雄や地磁気観測所は、一地域出身の人物や地域にある機関が日本や世界と密接に繋がっていることを例示しています。これからは、「八郷から世界(日本)」を「世界(日本)から八郷」というグローカルな視点をもって八郷の近現代史を語るが必要となるでしょう。

町史編さん専門調査員

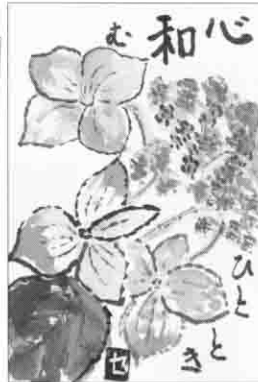
近現代担当 栗田尚弥



P.N 雪神蘭花



P.N 謎の男 T



須釜 塩谷節子 (61)



P.N 奈月さくら



P.N 伊奈 南

つゆの晴れ間を心嬉しくじやがいもを夫と二人で掘る。働くつて楽しい。白いつややかな芋がころころと土の中からとび出す。自然を満喫しつつ花作りや野菜作りをして家族を喜ばせることのできる農家の老人は幸せだ。庭も広いから、草取りは朝のうちからやる。うぐいすが鳴く。一瞬手を休めて近くの竹林に目をやる。老夫婦二人が仲良く働けるうちは働きたい。休みの時間には土の上を平らにして字を書く。老成、老熟、老練、老朽、そして老春。この字が一番好きだ。歳をとつても青春時代のように若々しいという字だ。この家にとつてなくてはならない人間になりたい。

匿名

わたしも一言



北日本など一部の地域を除くと、九月初旬はまだ夏の内。残暑に悩まされる日が続きますが、それでも朝夕や夕暮れ時など、ふと秋の気配が感じられるようになります。やがて、夜がだんだんと長くなり、朝夕が冷え込み、露の降りる日も現れるようになります。秋気が募ってきます。そんな秋の訪れを「白露」といい、新暦の九月七日前後がその時期に当たります。このころになると、それまで生暖かった風にも冷たさが加わります。「秋風」とは、文字どおり秋に吹く風を指しますが、夏や冬の季節風のように定まった風向きはありません。俳句の世界では、秋

歳時記

の初風をいう場合もあり、晩秋の身にしみるような冷たい風をいう場合もあるようです。「秋」と読み方が同じ「愁（しゅう、うれい）」「飽き」にかけて、うれいを含んだ風の意味で「愁風」、心の破綻があるという意味で「飽き風」と詠んだ詩や句が、昔から多くつづられていきます。秋風を色に配して白、素風と呼ぶこともあります。石山の 石より白し 秋の風 芭蕉 これは、白露を連想させる白く光った風です。実体のない風に色を与えることで、その特色を浮かび上がらせた句です。同じ秋に吹く風である台風や、初冬の木枯らしなど、さまざま風を色にたとえてみるのも面白いですね。

力のこもった運筆で、気合いある作品です。

放流  
吉水孝至

元氣よく堂々と書けた美しい作品です。

の水花辺  
鈴木 絢乃

評 玄潮会理事 森 浩亭

林小五年 鈴木 絢乃

習字コーナー

全問正解者のなかから  
抽選で図書券が当たるよ

# 広報クイズ 161

3つの答えの中から正解を選び  
ハガキに書いて送ってください。

- ①下水道の日は何月何日？  
A-9月1日 B-9月10日  
C-9月15日
- ②参議院議員通常選挙が行われた  
日は何月何日ですか？  
A-7月20日 B-7月22日  
C-7月29日
- ③介護者のつどいでは何人が発表  
しましたか？  
A-3人 B-2人 C-1人

### 【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ161と書き、  
答えの記号(例①-A)、住所、氏  
名、年齢、世帯主と「私もひと  
こと」へのご意見や広報の感想  
などを書いて送ってください。  
イラストやマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図  
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成13年9月20日  
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195八郷町柿  
岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙10月号

### 【広報クイズ159の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Aでした。  
応募総数39通、正解35通の中  
から次の10人が当選しました。

市村靖(小見) 入江勇(大増) 川  
上奈美(小見) 菊地紘美(吉生)  
駒場香央里(吉生) 鈴木かつ江(小  
山田) 鈴木美穂(太田) 田口博保  
(柿岡) 富田静(下青柳) 成田ま  
さ子(小幡) [敬称略]



吉生 菊地 紘美



P.N SKY.



P.N テレビ・ジョン

## ● やさと文芸

### 短歌

大塚 誠選

戦友会三十回と続きしも役員はただの兵のみとなる

真家 長谷川 雅吾

空近く泰山木は悠悠と真白き花を風に播らせり

山崎 荒井 幸子

何時の間に若葉は青葉と変わりたり追はれるように

弓弦 塚田 キヨ

日の経ちていく

### 俳句

綿引 鼓峰 選

落ちそうで落ちぬ葉先の青蛙

吉生 土佐 汀 風

湖風に蓮の葉絶えずゆれ交わす

下林 鈴木 邦 翠

雨霽れて夕べ咲きそむ月見草

東成井 菱 沼 いみ子

一家背負って働く父の胼胝のその手は宝物

下林 白田 正 源

姑の手を引きゆつくり散歩愛で支える優し嫁

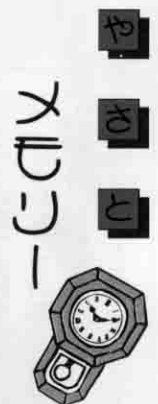
柿岡 鈴木 千代子

明日又ネと手を振りながら可愛い園児の別れ道

下林 岡崎 よし



板敷山大覚寺を訪れた外国大使館のみなさんが、かすりの着物にハダシの出で立ちで、稲刈りに大奮闘。(昭和四十八年当時)



# 「まち」の話題「できごと」

身近な出来事や地元の話をおよそください  
 (連絡先 秘書広聴課 内線二三四三)

## ぼくたちわたしたちの最高傑作です

七月十九日に行われた第二十九回花と緑の環境美化コンクールにおいて第四部門(学校の部)で八郷南中学校が優秀賞を受賞しました。

南中学校では三年生が技術家庭の時間に男女共同でプランターに花の種をまき、朝は部活動をしている生徒、昼は相談学級の生徒、夕方は三年生が掃除の時間を利用して水かけや除草をしながら育てました。そして六百個のプランターに、およそ一万株の花が見事に咲き、校舎前に並べられています。

栽培を指導している小山先生は「今年は特に暑いので、花の管理が大変です。

水かけは怠れませぬ。八月ごろが見頃でしょう」と話してくれました。また、生徒たちは「自分たちが咲いた種からこんなにきれいな花が咲いてとてもうれい」と喜びを語ってくれました。

南中学校では、ほかにも校舎裏手にある生徒たちの自転車置場の周りや、校舎前の駐車場のフェンス沿いに花の苗が植えられ、学校は花に囲まれています。

花と緑の環境美化コンクールでは、南中学校のほかに第二部門(地域の部)で園部第三百寿会が優秀賞、第四部門(学校の部)で瓦会小学校が優良賞をそれぞれ受賞しました。



## 台湾の野球チーム町に表敬訪問

七月二十七日、台湾の民安野球チーム(王錦明領隊)のみなさんが八郷町役場に表敬訪問にみえました。

選手のみなさんは、台北懸民安國小の児童で、七月二十六日から二日間、小幡と小桜のスポーツ少年団員の家にホームステイしており、七月二十八日には小幡スポーツ少年団と小桜スポーツ少年団

との交流試合も行われました。

民安野球チームの歓迎式では王領隊の挨拶から始まり、町長、議長の歓迎挨拶に続いて懇談会を行いました。台湾の子どもたちは八郷町の緑の多さにとっても驚いていたようで、懇談会ではそれぞれの国の違いについて語り合いました。



ときめき

ティータイム

塩谷典子(須釜・22歳)さん

昨年社会福祉士の国家試験に合格し、今年の四月から石岡の老人ホームに勤めています。現在ホームヘルパー二級の資格を取得するために研修中です。休みの日は友達と大好きな買い物にかけます。



八郷ターゲット・バードゴルフ親善大会 7月15日

大会は総合運動公園で行われ、町内外から多くの選手のみなさんが集まりました。八郷町では男子シニアの部で飯島勇吉さんが三位、Gシニアの部で海野重俊さんが三位、女子Gシニアの部で底節子さんが優勝、久保田英子さんが三位でした。おめでとうございます。

## 洗練された音色にうっとり

音楽を楽しむ会主催のジョイント・コンサートinやさとが七月二十二日中央公民館大講堂を会場に行われました。

コンサートは、ブルースハーモニカの平松悟氏とピアノの金子雄太氏のデュオから始まり、チェンバロの岩淵恵美子氏の独奏、岩淵氏とギターの飯田明氏とのデュオ、バスの山口俊彦氏の独唱と続き

ました。演奏が終わると会場からは絶え間ない拍手が沸きあがりました。

音楽を楽しむ会では、コンサートに六十五歳以上の高齢者百人を招待しました。また、チャリティコンサート収益金は昨年、コンサートに出演してくれた内モンゴル出身、馬頭琴奏者リボー氏のリボー馬頭琴基金会へ寄付される予定です。



## りっぱな小坊主さんになれたかな

七月二十八日、瓦谷にある定光寺本堂で、小学生以上を対象に「はやおき夏季体験講座」が行われました。

これは、自分の心をしつかりと見つめ、日々の暮らしに生かし、子どもたちが長い夏期休暇を規律正しく有意義に過ごせるように行われたものです。

当日の早朝、八人の子どもたちが定光

寺に集まり、境内や堂内の清掃、ラジオ体操、齋食で修行としての食事作法を習い、座禅、写経、写仏を体験、最後に野菜中心の精進カレーを作りました。子どもたちは「おいしいね」と言いながら自分たちが作ったカレーライスを口いっばいにはおぼっていました。夏休みの貴重な体験ができたようです。

## 小野万灯30年ぶりに復活

七月十七日、小野越にある北向山観音堂入り口から観音堂までの間に万灯がともされました。地元ではこの万灯を「小野万灯」と呼び、今から約三十年前まで小野越のお祭りの日に飾られていました。

このような中、小野万灯を復活させようと、鈴木俊勝さん（小屋）率いるボラ

ンティアグループが立ち上がり、小野越のみなさんに協力を呼びかけ、子どもたちに万灯の絵を書いてもらいました。そして三十年ぶりに小野万灯が復活したのです。

このような地元の伝統行事をこれからも守り続けてもらいたいですね。



今年の七月は猛暑が続き、降水量が例年とくらべかなり少ない年でした。

地球は「水の惑星」といわれるほど水が豊富なので水はあつて当たり前と思っていました。地球の水の九六・五割は海水、淡水は約二・五割で、しかも、淡水のほとんどは南極や北極の水で、わたしたちが生活用水に利用できる水は河川・湖沼・地下水の一部、わずか〇・八割にすぎないそうです。

また、日本をみますと降水量は年間平均で世界平均の約二倍ですが、狭い国土に人口が多く、一人当たりの降水量は世界平均の約五分の一程度であり、決して豊富とは言えない状況です。

年々生活水準の向上、水使用機器の普及、核家族化の進行により、生活用水の使用量は今後増加すると見込まれているそうです。

これからは、水は限りある貴重な資源であることを意識しながら、ついムダづかいしてしまいがちな水の使い方を、必要な分だけ大切に使うよう心がけるといふことをあらためて考えさせられた梅雨でした。

(渡)

# 参議院議員通常選挙



町の投票率は46.73%

(茨城県選出議員選挙)

参議院議員通常選挙は、七月二十九日に投票が行われました。

今回の選挙は、比例代表選出議員選挙において「非拘束名簿方式」という、政党名・候補者名のいずれかでも投票できることになった初めての選挙でした。

投票は、町内二十七の投票所で午前七時から始まり、午後八時に閉鎖し、午後九時から役場会議室で開票作業が行われました。

町の当日の有権者数は二万四千二百十六人で、投票率は茨城県選出議員選挙は四十六・七三割、比例代表選出議員選挙は、四十六・七二割という結果でした。  
八郷町開票区における各候補者、政党の得票数は下記のとおりです。

## 茨城県選出議員選挙候補者別得票数

候補者名	得票数(票)
小松とよまさ	554
小林元	1,663
吉岡まり子	474
武藤ひろみつ	229
杉森弘之	308
かのう安	6,163
加藤まさこ	1,008
無効投票	917

※届け出順

## 比例代表選出議員選挙政党別得票数

政党名	得票数(票)
日本共産党	443.000
第二院クラブ	76.000
維新政党・新風	12.000
女性党	126.000
無所属の会	18.000
保守党	150.000
民主党	1,150.864
新社会党	246.000

政党名	得票数(票)
自由連合	81.171
公明党	1,671.510
自由民主党	5,425.451
社会民主党	328.000
自由党	803.000
新党・自由と希望	68.000
無効投票	720.000

(八郷町開票区)

※届け出順

※得票数は各参議院名簿登載者の得票数を含む

## 国・県道破損情報の通報のお願い

県では、道路利用者に安全に道路を利用していただくため道路パトロールや維持補修を実施しておりますが、道路の破損情報について、さらに多くの情報をより早く得るため、住民の皆様に通報のご協力をお願いいたします。

国道や県道で道路の破損を見したら、土浦土木事務所までご連絡ください。

### 対象となる道路

国道355号線

県道

### 道路の破損例

道路に穴があいている。  
道路側溝が壊れている。  
縁石がはずれている。

### 連絡先

茨城県土浦土木事務所  
管理課

〇二九八(二二)四三四〇

※町道の場合は、役場建設課までご連絡ください。

建設課(内線一八二)